

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<u>流動資産</u>	36,535,773	<u>流動負債</u>	22,318,227
現金及び預金	1,787,316	未払金	4,341,450
営業未収金	11,288,095	未払消費税等	233,710
短期貸付金	21,998,851	未払法人税等	357,451
1年以内回収長期貸付金	900,000	1年内返還長期預り保証金・敷金	2,099
商品	121,802	契約負債	4,707
その他	439,707	前受収益	179,182
		売上預り金	15,818,007
		賞与引当金	348,328
		その他	1,033,289
<u>固定資産</u>	58,498,532	<u>固定負債</u>	23,453,799
有形固定資産	42,081,242	長期未払金	2,993
建物	39,756,123	預り保証金・敷金	21,394,887
構築物	204,414	資産除去債務	474,704
機械及び装置	69,795	退職給付引当金	1,581,213
車両運搬具	0		
器具備品	1,317,083		
建設仮勘定	733,826		
		<u>負債合計</u>	45,772,027
無形固定資産	500,192	(純資産の部)	
施設利用権等	13,052	<u>株主資本</u>	49,262,279
ソフトウェア	487,139	資本金	1,630,000
投資その他の資産	15,917,098	資本剰余金	5,864,308
投資有価証券	6,704,619	資本準備金	1,612,500
関係会社株式	1,281,561	その他資本剰余金	4,251,808
長期貸付金	2,700,000	利益剰余金	41,767,970
長期前払費用	89,452	利益準備金	250,992
差入預託金・敷金	1,349,694	その他利益剰余金	41,516,978
繰延税金資産	3,789,630	別途積立金	11,150,000
その他	2,140	繰越利益剰余金	30,366,978
		<u>純資産合計</u>	49,262,279
<u>資産合計</u>	95,034,306	<u>負債・純資産合計</u>	95,034,306

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		
不動産賃貸等収入	43,949,510	43,949,510
売上原価		
不動産賃貸等原価	36,826,529	36,826,529
売上総利益		7,122,981
販売費及び一般管理費		3,276,556
営業利益		3,846,425
営業外収益		
受取利息	52,419	
受取配当金	450,018	
その他	260,387	762,826
営業外費用		
為替差損	296	
その他	2,684	2,980
経常利益		4,606,270
特別利益		
テナント解約金受入	15,288	
原状回復費受入	74,771	
その他	73,910	163,969
特別損失		
固定資産除却損	200,944	
固定資産撤去費	814,211	
減損損失	3,569,787	
その他	71,684	4,656,629
税引前当期純利益		113,611
法人税、住民税及び事業税	483,911	
法人税等調整額	△ 554,137	△ 70,226
当期純利益		183,837

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(個別注記表)

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1-1 資産の評価基準及び評価方法

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

- ・子会社株式及び関連会社株式
移動平均法に基づく原価法によっております。
- ・その他有価証券
市場価格のない株式等
移動平均法に基づく原価法によっております。
なお、匿名組合への出資については、組合の財産の持分相当額に基づき評価しております。

(2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ・商品
主に売価還元法に基づく原価法によっております。
(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

1-2 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。ただし、亀戸店、目黒店、大森店、吉祥寺店、三鷹店及び水戸エリア店舗の有形固定資産については定率法(1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物については定額法)によっております。なお、耐用年数及び残存価額については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(2)無形固定資産

定額法によっております。なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(3)リース資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産)

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

(4)長期前払費用

均等償却によっております。なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

1-3 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上する方法によっております。

(2)賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額基準により計上しております。

(3)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき発生していると認められる額を計上しております。また、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

なお、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

1-4 収益及び費用の計上基準

不動産賃貸事業、直営事業を行っております。これらの事業から生じる収益は、主に顧客との契約に従い計上しており、取引価格は顧客との契約による対価で算出しております。ただし、当社が代理人として行っているクレジット取扱手数料等に係る取引では、取引価格を顧客から受け取る対価から実際に商品やサービスを提供するほかの事業者を支払う額を控除した純額で収益を算定しております。

不動産賃貸事業に係る収益は、主に商業駅ビル形式による店舗等の管理及び運営によるものであり、リース取引に関する会計基準に従い、賃貸借契約期間にわたって計上しております。

直営事業に係る収益は、商品販売や飲食店舗によるものであり、顧客に対し商品を引き渡す履行義務や、サービスを提供する履行義務を負っております。当該履行義務は、商品の引渡し時点、サービスの提供時点で充足されます。

2 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

3 会計上の見積りに関する注記

3-1 繰延税金資産の回収可能性

(1)当事業年度の計算書類に計上した額

繰延税金資産	3,789,630 千円
--------	--------------

(2)その他の情報

繰延税金資産は、将来事業年度における将来減算一時差異の解消、税務上の繰越欠損金と課税所得との相殺に係る減額税金の見積り額について、将来の課税所得の見積り等に基づき回収可能性を判断し計上しております。

課税所得の見積りは、事業計画や中期計画等の業績予測を前提としております。

業績予測において、新型コロナウイルス感染症の収束により、2024年度以降も回復傾向を辿り、その後一定の水準に収れんとすると仮定しております。

3-2 固定資産の減損

(1)当事業年度の計算書類に計上した額

有形及び無形固定資産	42,581,434 千円
------------	---------------

なお、減損損失として3,569,787千円を計上しております。

(2)その他の情報

当社は、管理会計上の区分に従い、業態ごとまたは物件ごとに資産のグループ化を行っております。そのうち、帳簿価額に対し著しく時価が下落した資産および収益性が著しく低下した資産について、帳簿価額の回収可能価額まで減額し、減損損失を認識しております。

回収可能価額の算定に際しては、将来キャッシュ・フローの見積り年数、テナントの入居状況や設備投資リニューアルを踏まえた営業収益の予測値、コスト削減施策の効果、将来キャッシュ・フローの現在価値を算出するための割引率等の前提条件を用いております。

4 貸借対照表に関する注記

4-1 担保に供している資産

差入預託金・敷金 10,000 千円
宅地建物取引業法に基づく営業保証金として供託しております。

差入預託金・敷金 38,840 千円
資金決済に関する法律に基づき供託しております。

4-2 資産に係る減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 81,075,167 千円

4-3 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 143,042 千円

長期金銭債権 209,821 千円

短期金銭債務 461,045 千円

5 損益計算書に関する注記

関係会社との取引

営業取引による取引高

売上高 331,565 千円

売上原価 13,659,353 千円

販売費及び一般管理費 1,424 千円

6 関連当事者との取引に関する注記

6-1 親会社及び法人主要株主等

(単位:千円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	東日本旅客鉄道(株)	被所有 直接 100%	不動産の賃借等・役員 の兼任	不動産賃借料等 の支払	7,887,249	未払金	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案し、価格交渉の上で決定しております。

6-2 兄弟会社等

(単位:千円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社の子会社	JR東日本ビルディング(株)	なし	不動産の賃借等	不動産賃借料等 の支払	2,636,341	未払金	7,078
親会社の子会社	JR東日本ビルテック(株)	なし	ショッピングセンターの統括管理業務委託・工事発注等	業務委託費の支払 設備の購入	4,371,004 1,041,443	未払金 未払金	359,467 252,219
親会社の子会社	(株)ビューカード	なし	加盟店契約	クレジットカード債権の譲渡	34,426,602	営業未収金	1,959,082

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案し、価格交渉の上で決定しております。

7 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 9,440,835 円40銭
1株当たり当期純利益 35,231 円47銭